

なかしんでんかつどうそしき

中新田活動組織（原村）

・組織の活動面積 A= 355.1 ha

・組織の構成員数 約 340 人

組織形態

農地維持 ■

資源向上(共同) □

資源向上
(長寿命化) ■

取組開始年度

平成26年～

—

平成26年～

構成員

農家、非農家、中新田区、畑灌組合(3地区)、営農組合(3地区)

組織の概要

八ヶ岳西麓の原村の南東に位置し、区域内の95%以上で圃場整備事業が終わっている。水田は、水利に恵まれないため隣の市や町の河川から引水し、温水ため池3か所を利用している。高冷地(1000m以上)でありながら日照時間の長さから収量の多いのが特徴である。畑は、すべてに畑地灌漑施設(FP6か所)が整備されセルリーの主要産地となっている。また、ブロッコリー、ホウレンソウなどの野菜と、スターチスなどの花の産地として農業中心の地域である。

専業農家も多い反面、高齢化も進み農地の保全も大切となっている。水路管理なども非農家の参加を得て行っている。さらに野生動物の被害から農作物を守るため防風林の整備や外来植物の除去などの活動にも非農家の協力がかかせなくなっている。

地域を将来に残す

外来植物の除去(約4t)



河川清掃(年1回区民全員)



ため池堤体の草刈り



取り入れ水路の整備



防風林の支障木整理



水路の改修(竣工検査)

